

## 第5回「ありがとう卓越経営大賞」贈賞式



郡山営業所 長尾久治さん

「ありがとう卓越経営大賞・特別功労賞ノミネート賞」受賞!



▼一月十九日、東京港区台場のホテル・グランパシフィック Le Palaisで行なわれた「第5回ありがとう卓越経営大賞」贈賞式にて、こんの郡山営業所の長尾久治さんが「特別功労賞ノミネート賞」受賞の栄に浴されました。この「ありがとう卓越経営大賞」とは、中小企業の現場第一線で働く従業員を対象に、卓越管理者賞・卓越社員賞・特別功労賞の三賞が授与されるもので、企業経営者が自社の従業員を推薦する手紙を書き、それを元に選考されるといいます。▼それでは次頁に、長尾さんを推薦した紺野社長の手紙、その全文を掲載させていただきます。

先代（私の父です）の時代から二十八年も  
の長きに渡り、郡山営業所を支え続けて下  
さっている長尾久治さんに心から「ありがと  
う」をお伝えしたい、その一心から推薦させ  
ていただきます。当社の仕事は、廃棄物再生  
業と呼ばれます。主に取り扱っている品目は  
古紙です。一般家庭から分別廃棄される「資  
源ごみ」（ごみという呼び方は、実は正しく  
ないと思います。リサイクルするのですから  
：）、企業から排出される「オフィス廃用  
紙」、スーパーマーケットから排出される  
「不要ダンボール」などを回収し、製紙原料  
として再資源化を行なっています。九箇所の  
工場で一年間に約十八万トンもの古紙を再資  
源化しており、長尾久治さんが長年勤めて下  
さっている郡山営業所では、年間約一万五千  
トンを取扱っています。さてこの仕事は、日  
の目を見ることは殆どなく「迷惑施設」と呼  
ばれることさえあります。紙ですから、風が  
吹けば敷地の外へ飛散することもあれば、臭  
いこそありませんがそれなりに作業音は出ま  
すし、トラックの出入りも頻繁です。それで  
も地球環境を考えれば絶対に必要な仕事です。  
ペーパーレス化が進んでいるとはいえ紙が無  
い社会など考えられず、また、その紙の生産  
を森林資源のみで行うわけにはいかないと思

います。そのような当社の仕事に対して、長  
尾久治さんが持つプロ意識には本当に頭が下  
がります。工場の心臓部である、選別後の古  
紙を一トンの塊に仕上げる大型機械、また工  
場内運搬に欠かせないフォークリフトなどの  
大型重機車両、長尾さんはこれら機械たちの  
好不調を「音」で見分けます。少しでも異常  
を感じると、工具を取り出し自分で直してし  
まいます。本人は、「長くやっていれば誰で  
もわかりますよ」と謙遜しますが、そうで  
はないと思います。本気で仕事を愛し、設備  
に感謝し愛情を持っていている人でなければ絶対  
に到達しない領域です。それが「重機車両へ  
のワックスがけ」という行動に現れていると  
思います。この並々ならぬプロ意識で仕事を  
されていますから、入社以来続けている無事  
故も当然のことかもしれません。  
長尾さん、有難う御座います。苦勞の絶え  
なかつた先代期から、私の代になり会社のか  
たちも大きく変化してきましたが、一つひと  
つの仕事に対し、変わらず真摯に取り組む続け  
てきたあなたは会社の宝です。これからも郡  
山営業所の「職人」として、後進たちの指導  
育成を御願いたします！

株式会社こんの

従業員の幸せ向上担当 &  
代表取締役社長 紺野道昭